

【資料2】

サイエンスサポーター活動の流れ

- 職員へあいさつ→業務日誌に氏名を記入
- サポーター用ベストの着用(名札をつける)

来館者への対応には「もてなしの心」を！

- ・元気な明るいあいさつを
- ・待つのではなく積極的な対応を
- ・視線の高さでの対応を(幼児、車イス使用の来館者等)
- ・来館者が立っているときにはできるだけ立って対応を
- ・わからないことは笑顔で「確かめます」とはっきりと
- ・教えることは大切です。

来館者と一緒に学ぼうとすることはもっと大切ではないでしょうか。

楽しく、コミュニケーションしましょう。

いろいろ説明する前に...

科学を楽しむために...

お互いに緊張していますが、思い切って話しかけてみましょう。

●目的意識をもとう

登録しようと思ったきっかけは何でしたか？ 初心を忘れずに活動してください。

施設にも「気配りの心」を！

- ・気になったら 気持ちを込めて 清掃と整理整頓を  
時には来館者の立場で...  
時にはスタッフとして...

気づいたことを実行していきましょう。

- 活動終了→業務日誌に活動時間を記入

確認

- 自然科学学習館内での飲食はできません。(来館者には、きらめき広場等を案内)
- 公共棟内は全面禁煙です。
- 携帯電話、スマホはマナーモードにしましょう。
- 時間の変更等があった場合は、必ず連絡してください。
- 活動時着用のベスト、名札は自分で管理をお願いします。年度末に回収します。

■こんなことをちょっと気をつけるだけで、あなたの活動が実り多いものになります。

- ・相手のニーズに合わせて活動しましょう。
- ・約束を守りましょう。
- ・活動にけじめをつけましょう。
- ・謙虚に行動しましょう。
- ・秘密は必ず守りましょう。

■これらの「ボランティアのころえ」を守っているからといって、必ず活動が成功するわけではありません。まず、人と人とのふれあいの心、もてなしの心を大切にしてください。

相手のニーズに合わせて活動しましょう。  
～受容的に支え、相手の視線の高さに合わせて話しましょう～

■活動には相手があります。いいことだと思ってしても、しかられることがあります。

相手が何を求めているか理解しなかったため起こる結果です。善意は尊いものですが、おしつけでは困ります。相手と同じ気持ちになって動いてあげて、はじめて活動の喜びが発見できるのです。

相約束を守りましょう。～責任を果たすことから信頼が生まれます～

■実り多い活動にするためには、小さいことでも約束を守り、責任を遂行することが必要です。もし引き受けた仕事ができなくなったり、約束の時間が守れなくなったりしたときには、必ず学習館に連絡を入れます。

活動にけじめをつけましょう～「仕事をしている」という意識が大切です～

■学習館での活動中は、ムダなおしゃべりはやめて、けじめをつけて活動に打ち込みます。

謙虚に行動しましょう  
～心の通い合いが人の生きる意欲につながります～

■「ボランティア活動」には、積極性と同時に謙虚さも必要です。「してやっている」のではなく、協力者であり、援助者なのです。善意というのは押しつけになってはかえってマイナスです。たずねる姿勢、学ぶ姿勢を持ち続けます。

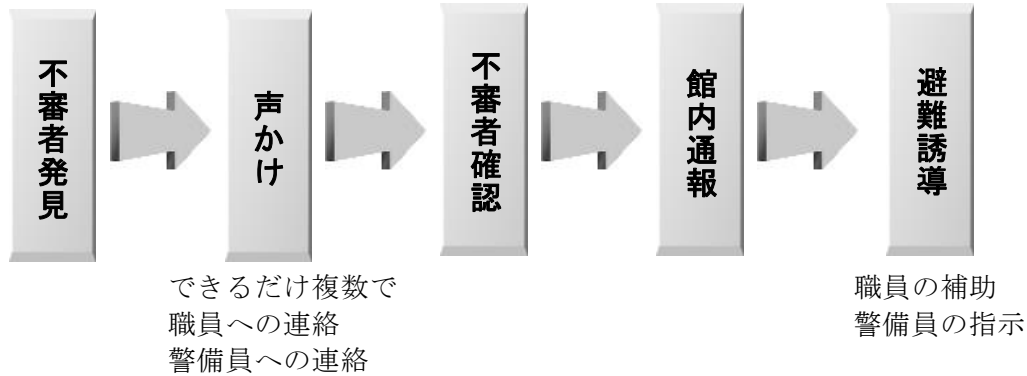
秘密は必ず守ります。～人の欠点や秘密を話すことは禁物です～

■ボランティア活動の場では、プライバシーとして守らなければいけないことが多くあります。必要なこと以外は外に言うてはいけません。秘密を守ることで信頼関係は強まり、活動を実りあるものにします。

サイエンスサポーター 防犯対応

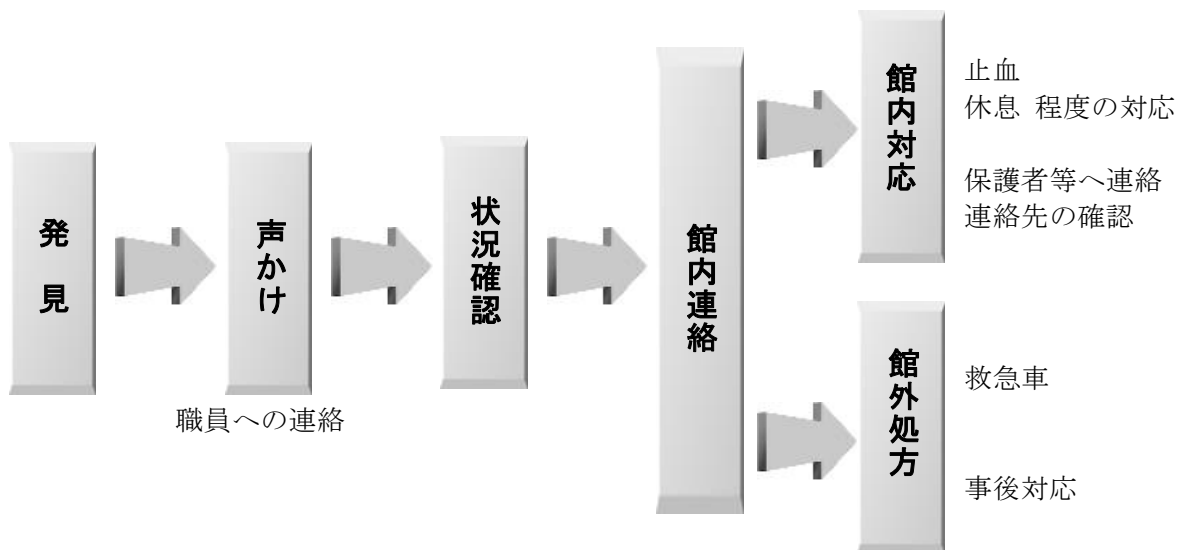
- ◆元気のよさや明るさが、事件事故を未然に防ぎます。
- ◆来館者に先入観や偏見を持たないようにしたいものです。

1 不審者が進入したときの体制



館内は防犯カメラを通して1階管理室でも警備体制を整えています。

2 けが人、病人発生時の体制



〈アルヴェ内〉

防災センター(内線 151)  
884-1470  
プラザ管理室 887-5310  
自然科学学習館 887-5330

〈救急外来対応窓口〉

秋田市立病院 018-823-4171  
秋田赤十字病院 018-829-5000  
中通総合病院 018-833-1122  
秋田厚生医療センター 018-880-3000  
秋大医学部附属病院 018-834-1111